

◎ネオシネジンコーワ注 [注]

【重要度】 【一般製剤名】 フェニレフリン塩酸塩 phenylephrine hydrochloride

【分類】 血管収縮・血圧上昇剤

【単位】 ◎1mg・▼5mg/A

【常用量】 ■1回2～5mg [最大10mgで初回は5mgを超えない] ■局麻時の作用延長には20mLの局所麻酔剤に対して1mgの割合で使用

【用法】 皮下注、筋注。反復投与は10～15分おき

【透析患者への投与方法】 設定されていない (1)

【保存期 CKD 患者への投与方法】 設定されていない (1)

【特徴】 選択的 α_1 刺激薬。心臓に対する毒性が弱く、強力な血管収縮作用がある。

【主な副作用・毒性】 頭痛、手足のしびれ感・ふるえ感、紅疹など

【代謝】 データなし (1) monoamine oxidaseにより生体内で脱アミノ化されアルデヒドを中間体として alcoholdehydrogenase, aldehydedehydrogenaseによりグリコール体、及びカルボン酸になる [animal] (1)

【排泄】 データなし (1)

【t1/2】 データなし (1)

【蛋白結合率】 データなし (1)

【Vd】 データなし (1)

【MW】 203.67

【透析性】 データなし (1)

注射後5分 (1mg皮下注時) (1)

50～60分 (1mg皮下注時) (1)

【更新日】 20141220

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院でいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。